



令和2年2月6日

川西市議会議長 秋田 修一 様

会派(呼称)名 市民クラブ“改革の風”

議員名 福西 勝

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

- 1 調査者氏名 岡留美、中井成郷、福西勝
- 2 調査先 丹波篠山市清掃センター
- 3 調査期間 令和2年2月5日
- 4 調査結果の概要

平成14年11月より丹波篠山市(当時、篠山市)と氷上郡山南町での共同運営されているごみ焼却施設へ視察に行きました。

地方交付税が合併10年後の平成22年から段階的縮減で、丹波篠山市の財政状況は急激に悪化し、財政健全化に向けた抜本的な対策を早急にとらなければ、丹波篠山市の行政運営は立ち行かなくなる恐れがあることから、灰溶融炉が平成20年度に休止されました。

灰溶融炉の休止は再生計画の140項目の見直し・検討対象の1項目として計画されました。

また市民への説明については、丹波篠山市の苦しい財政状況の理解があり、教育や福祉を優先することから灰溶融炉休止に理解を求めることはスムーズに行われた。

財政面において年間約9,000万円の運営費等削減となりました。

灰溶融炉は供用開始から5年で休止することになったが、国の補助金を受けず、地方債を財源とされたので事業費の返還金は発生しなかった。